2026　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	基礎医学実習室
担 当 教 員	坂本凜	実務経験とその関連資格	理学療法士として、小児領域の現場で5年従事している			

《授業科目における学習内容》

人間の発達を乳児期から老年期までの生涯発達として捉え、身体・運動・感覚・認知・心理・社会性の発達について学ぶ。特に乳幼児期の姿勢・運動発達を中心に、感覚と運動の関係、発達検査・発達評価、感覚統合、発達障害、脳性麻痺、ボバース概念などについて学習する。講義、演習、グループワーク、事例検討を通して、対象者を多面的に捉え、発達や生活の背景を踏まえて支援を考える力を養い、理学療法士・作業療法士として幅広い領域で活躍するための基礎を身につける。

《成績評価の方法と基準》

レポート70%、平常点30%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

コメディカルのための専門基礎分野テキスト　人間発達学

《授業外における学習方法》

体験・参加型の授業とし、グループワーク、ディスカッションを行い、自らの考えを伝える練習、また体験を通して体で発達を感じてもらう。

《履修に当たっての留意点》

自分も発達をした大人であることを念頭に授業を受けてみてください。そして、幅広く専門職が働いていることを知り、自分の目指す理学療法士、作業療法士を考える1歩としてください

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生涯発達においての理学療法士、作業療法士の在り方を知る	資料(プリント)、模造紙、付箋	(事前学習) 自分の目指すPT・OTがあれば考えておいてください。 シラバス、教科書に目を通してみてください
		各コマにおける授業予定	これからの授業の流れの説明をして、現時点での自分のなりたいPT・O Tを考える。また発達に関わる専門職の現状を知る		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達を捉える視点について学ぶ	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	発達の原則、個人差、発達を多面的に捉える		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達を知る(乳幼児期)	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。自分の出生歴について調べてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	胎児から出生し、新生児、乳児までの運動、感覚、認知、社会性を学ぶ		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達を知る(幼児期)	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	幼児期の運動、遊び、言語、社会性、生活について学ぶ		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達を知る(学童期から青年期)	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。自分の小学生時代を思い出してください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	学校生活、身体、心理、社会性について学ぶ		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達検査・発達評価について知る①	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	発達検査とは、検査の目的などを知る。鳥取県でよく使われる発達検査についての紹介、検査結果の見方について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達検査・発達評価について知る②演習	資料(プリント)動きやすい服装	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	模擬的な発達検査、事例から必要な発達検査、評価を考えてみる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障がいとPT、OT	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	発達障がいとは、どんな支援が必要なのかなどを学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚統合について①講義・体験	資料、動きやすい服装 そのほか実技に必要な道具は持ち込みします	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。運動できる服装で来てください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	感覚統合について学び、実際に体験する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚統合について②体験	資料、動きやすい服装 そのほか実技に必要な道具は持ち込みします	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。運動できる服装で来てください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	体験を通し、感じたことをまとめる		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人期、老年期について学ぶ	資料、タオル、動きやすい服装 そのほか実技に必要な道具は持ち込みします	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。運動できる服装で来てください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	成人期の変化、社会参加について学ぶ。老年期における加齢による変化やフレイルについて		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺とボバース概念①	資料、タオル、動きやすい服装 そのほか実技に必要な道具は持ち込みします	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。運動できる服装で来てください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺について学び、そこに対する運動発達、姿勢運動分析について知る。ボバース概念について学ぶことができる		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺とボバース概念②	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。 (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	姿勢、運動の捉え方、実際のハンドリング、実技を行い体感することができる。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフステージとPT・OT	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。自分の目指すPT、OTを考えてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	各ライフステージにおけるPT・OTの役割とは、多職種での連携のあり方を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間発達学のまとめと、これからの専門職人生について考える	資料(プリント)、模造紙、付箋。教科書	(事前学習) シラバス、教科書に目を通してみてください。自分の目指すPT、OTを考えてください (事後学習) レポートのテーマについては当日伝えます。
		各コマにおける授業予定	これから自分たちの進む道について考え、振り返る		